

# ちば通研だより No.503

千葉県手話通訳問題研究会 (発行責任者) 米田 市子 (編集者) 渡辺 正夫  
住所：〒260-0022 千葉市中央区神明町 204-12 千葉聴覚障害者センター内  
FAX：043-247-1201 E-Mail：syuwa@nifty.com URL：<http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

## 2025年度は役員改選です

～会員であれば、どなたでも役員に立候補できます～

2年に一度、ちば通研の役員の改選が総会の場で行われます。

ちば通研の役員は、会長のほか現在21人と監査2人で構成されています。

特に、ちば通研の役員選出の特徴は、5つの地区別から役員を選出していることです。具体的には、5つの地区別の地域班から毎回1人を役員に送り出してもらうことで、ちば通研の事業内容・運営方法を知ってもらい、自分の地区や地域班に情報を提供してもらうことが目的で2013年度から実施してきました。

今回は、2025年度・2026年度の役員を選出します。ちば通研の役員になることで全通研の総会に当たる代議員会に代議員として参加できる事になります。今回の役員選挙では、会員一人一人にその権利がありますので、奮って応募してください。

代議員になりますと関東手話通訳問題研究会の総会、全通研ブロック別会議、代議員会に参加することになります。これらは、全て対面で行われる予定です。

ちば通研の定期総会の日時、会場等は未定です。これから役員会で協議して決定します。地域班によっては集団視聴会場を設置するところもあります。詳細については、改めて会員の皆さまにお知らせします。

また、定期総会に引き続き、午後1時30分から「ちば通研講座」(講師 南村洋子氏)が開催されます。こちらにも沢山参加して下さるようお願いいたします。

1月29日時点でのちば通研の会員数は328人  
(読者会員会員数は15人)  
2024年度の目標数は330人です  
数は力！みんなで会員を増やしましょう～



## 能登半島地震から1年（その2）

聴覚障害者災害救援対策中央本部は、能登半島地震の1年後の状況を把握するため、1月24日に金沢市の石川県聴覚障害者センターで石川県対策本部との意見交換会を開催しました。

私は中央本部の一員として石川県を訪問しました。24日の意見交換会の前日の23日にせっかくの機会でしたので、石川県の全通研会員で被災されて会費免除を受けた人との懇談会を七尾市のパトリア3階で13時から2時間ほど開催することにしました。

平日にも関わらず西支部長を含む10人の会員が参加してくれました。お土産に持参したぴーなっつ最中やお菓子と温かなお茶を飲みながらサロンのような雰囲気でお話を進めました。司会進行は、北信越ブロックの新船理事が務めてくれました。

一人一人から現況や今後のことについてお話を伺いました。その中で、「自分は苦しいが他の人はもっと苦しいので言いたくてもなかなか言えなかった」と胸の内を明かしてくれました。また、「地域のきこえない人から困っていることなどを聞いて支援物資を持って行った」という話も聞きました。

短い時間でしたが、皆さんのお気持ちを聞くことで良かったなと思いました。

帰り際に「やっと言う事ができてホッとした。聞いてくれる場を設けてくれてありがたかった」と言ってくれた人がいて、少しだけ寄り添うことができたのかなと思います。懇談会を開催して良かったとつくづく思いました。

24日は、藤平さんがホテルまで迎えに来てくれました。能登町にある就労支援事業所のやなぎだハウスを訪問するためでした。

のと里山海道という自動車専用道路（高速道路の4車線でしたが地震で2車線の対面通行になっていました）を通って事業所に向かいました。途中、石橋理事長を迎えにのと里山空港に行きました。穴水あたりになると道路はがけ崩れなどで崩壊してしまっていました。何とか対面通行にして開通していましたが、かなり車は揺れました。

金沢駅近くのホテルから3時間ほどかかってやなぎだハウスに到着しました。



やなぎだハウスでは、職員が出迎えてくれました。そして、利用者が草履を作っているところを見て回りました。また、その隣のガレージに入りました。元々は消防車の車庫でしたので、シャッターも頑丈なもので重そうに見えました。また、天井には穴が開いていて寒く感じました。コキアが干されていました。コキアで箒などを作っています。

今日は午後からお餅つきをすることになっていました。そのお手伝いにチーム日本の4人の方が来てくださっていました。他にも日本障害フォーラム（JDF）も送迎などの支援に来てくれています。



やなぎだハウスに隣接されているモバイルハウスの中をご好意で見せていただくことができました。こじんまりしておりましたがコンパクトに配置されていました。利用者は新しい電化製品の使い方がわからず四苦八苦したと報告がありました。

金沢市に戻り、石川県聴覚障害者センターの多目的室で午後3時から、石川県対策本部の5人のメンバーと災害救援対策中央本部5人との意見交換会を開催しました。

やなぎだハウスについて（ガレージを区切って部屋を設置することや職員の状況）、災害救援基金、報告書の作成についての意見交換をしました。

やなぎだハウスの職員については、3人のうち1人が退職しますが2月から補充する予定になりました。また、もう1人不足しているため早急に募集することになりました。

災害救援基金で集まったお金を使ってやなぎだハウスの修繕ができ、何とか利用者が困らないよう支援ができています。皆様のご支援のお陰で実現できました。まだまだ、通常の生活に戻るには相当な時間がかかります。引き続きのご支援をお願いする次第です。



（広報部長 渡辺 正夫）

## 楽しく未来社会学習班(TMG 班)講演会から

### アンケートから見えてきた事 する事

（TMG 川根紀夫さん講演後のアンケートより）

2024年12月22日に東金市ふれあいセンターでTMGの学習会として川根紀夫さんに「通訳現場で見つけた問題の解決方法」の講演をしていただき、それに対するアンケートを募ったところ以下のような意見が寄せられました。（紙面の都合もあるのでちょっとだけ）

（講演内容はHP会員専用ページをどうぞ）

問：自分にでもできそうな事は？

- ・仲間を増やすことかな



問：講演の内容から学べたことは？

- ・私たちは憲法を念頭において動いている事を忘れない様にしなきゃ



問：“未来の理想社会に向けて現在の改善すべき事は？”

- ・差別のある未熟な社会を、個人を、なくせれば...

・議員の数を減らし、議員の給料も減らし、テレビでやっていた、議員が、不正に得たお金は全て返す！！それを福祉に充てればずいぶんな財源になるはずですが。英語教育も大事だけど、同じ日本人なのに、言葉がしゃべれないというだけで、手話が出来ないばかりにお話出来ないことは、寂しいので小さいときから小学校でも、クラブでもいいので手話に触れ合う機会があるといいと思います。



（班長 田村 文美）

## 地区講座(北総)報告

1月19日(日)、14:00~16:30まで、地区講座(北総)が開催されました。「歩み続ける全通研 記念誌から学ぶ」をテーマに、ちば通研広報部長、全通研会長として、日々奔走されている渡辺正夫氏のお話、人となりに触れることができました。参加者は、会場19人、オンライン5人、計24人でした(内、きこえない人1人、一般6人)。

印象に残ったのは、1963年(昭和38年)9月1日の「みみずく」手話サークルの誕生。目的に、《差別や偏見のない社会を実現》という一文があります。60年以上前に現在にも通じる課題に気づき、それも夜間高校生が中心です。資料8のこれからの全通研「温故知新と不易流行」につながるのでは、と解釈しました。オンライン参加は便利です。オンラインの機械操作など、ご協力いただくと助かります。(組織部 鶴澤 恵子)

## 地区講座(北総)に参加して

北総地区講座は渡辺正夫氏を講師に迎え全通研の50年の歩みとこれからを分かりやすく丁寧にお話いただきました。一般で参加されたサークルの方たちも興味深く聞いていたのが印象的でした。同じ志を持つ会員が増えてみんなの力で問題や課題に取り組む、その一員になってくれればと思いました。私は過去に聞いたお話の点と点がつながり全通研についての理解が一步進んだかなと思いました。

途中機材のトラブルで途切れてしまうこともありましたが、担当の方々のご尽力もありなんとか無事に地区講座を終えることができて良かったです。(白井班 山下 智子)

## 地区講座(東総)報告

1月25日(土)、16時から17時50分まで、八街市中央公民館にて「地区講座(東総)」が開催されました。テーマは「『手話言語条例』について」です。講師は、屋代利津子氏(元習志野市職員)でした。県内で初の手話言語条例を制定した習志野市の制定に至る経緯やその目的、背景などを丁寧に説明していただきました。

講演後には、手話言語条例制定に動き出している八街市のきこえない人からたくさんの意見が出され白熱した質疑応答になりました。

また、参加者は、会場17人、オンライン6人、計23人、うち、きこえない人は4人、一般の参加は1人でした。八街市障がい福祉課の職員が3人参加してくださいました。(組織部長 野島 晃)

## 地区講座(東総)に参加して

地区講座(東総)に参加して手話言語条例について屋代利津子氏のお話を聞き、とても勉強になりました。習志野市では、毎年1回職員の手話研修や、障害のこと障害のある人のことを理解するための体験講座、日曜日の市役所で手話、身振りを使い脱出ゲーム等をし、障害のある人のことを理解し支援の仕方が分かるような取り組みをしているとのこと。地域交流もでき素晴らしいと思いました。(八街班 中川 恵)

習志野市における条例の必要性や制定までの流れ、そして制定後の取り組等々を分かりやすくお話ししていただき、大変勉強になりました。「ことばが人間関係を作る。だから手話が使いやすい社会を目指す」心に染みしました。(富里班 曾根原 けい子)

## 「ろう重複者ととともに よしえが語る！」 Vol. 11

### 「らいおんホームそが」

「らいおんホームそが」は、2014（平成26）年7月に開設された共同生活援助（グループホーム）です。

グループホームとは、障害者が地域で自立した日常生活を営むために①家事等の日常生活の支援、②食事・入浴・排せつ等の介護、③日常生活上の支援を行う施設の事をいいます。

「らいおんホームそが」は、上記の支援に加えて、手話や触手話など、利用者のニーズに適したコミュニケーション方法で情報提供をおこなっています。ろう重複障害者の仲間が安心して生活できる支援を行う場です。

また、手話を使った情報提供やコミュニケーションが保障され、社会に自由に参加できる社会環境の整備が必要であることを広く知らせていくことも含めて、利用者である仲間が「充実した日々」を過ごせるようにサービスを提供されています。

「らいおんホームそが」の裏には小川が流れ、春には食堂の窓から満開の桜を見ることができ、時折、暖かな風と一緒に桜の花びらが入ってくる素敵な場所にあります。

楽しい時、悲しい時、相談がある時、どんな時でも自分の気持ちを手話で伝え、通じ合うことができる環境が整っています。

さらにきこえない仲間が安全、安心して生活できるように、インターフォンや災害を知らせる警報器、各居室への連絡ができるモニターの設置など様々な工夫がされた「手話コミュニティ」になっています。

休日には、散歩やゲームを楽しんだり、手芸等の趣味に熱中したり、仲間のみなさんが個々

のペースで、自分らしく過ごせる環境が提供されています。



【らいおんホームそが】

2012（平成24）年2月にこのグループホームの建設について、蘇我町内会への説明会が開催されました。

当時の開催案内書には「障害があっても一般の人々と同じように地域の中で、一緒に生きていきたいとの願いから進めてきました」と書かれています。

現在は、地域の方々にご理解いただき愛されながら、仲間の皆さんもいきいきとグループホームから作業等の場である日中活動の場へと通っています。

2015（平成27）年度からは「らいおんホームそが」の施設を利用してショートステイも開始されました。

現在、「らいおんホームそが」の近くのアパートを借りて、ホームに食事に来ている人もいたり、この年末年始をホームで過ごしたりされた方もいるそうです。

仲間の個々のニーズを支援していくために、これからもたくさんの力が必要になると思いますので、みんなで応援していきたいですね。

（飯泉 よし江）

次回に続く⇒



## 医療班コーナー

### 薬剤師のお仕事

普段皆さんが薬剤師と接するのは、薬局の店頭でしょうか？  
これからは患者側が「役割を果たしてくれる薬局」を選ぶ時代です。

#### ●薬剤師の基本的な役割（調剤薬局を中心に）

- ・ 薬剤服用歴の管理：患者毎に処方履歴等の記録、管理をします
- ・ 薬剤情報提供：調剤した薬剤の効果、副作用等の情報を伝えます
- ・ 疑義照会：薬剤服用歴や患者からの情報、処方内容を確認して疑問があれば、処方医に確認します
- ・ 残薬整理：継続処方薬等の残薬発生の理由等を確認し適切な対応をします
- ・ 服薬期間のフォローアップ：初めての処方薬の服用がスタートしたら、副作用や外用薬の使用法の確認等をします

高齢になると、一人で複数の診療科を受診することが多くなります。  
薬剤師は患者にわたる薬剤が適切かどうか、総合的にチェックする必要があります。  
薬局の役割を果たしてもらうには、一人の患者が一つの薬局で一元管理をすることが大切です。

かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師を決めて、普段から気軽に自分の健康について相談をし、健康維持や病気の予防につなげましょう。

患者の病状や状況に応じて、在宅患者や家族への服薬指導等を訪問して行います。

かかりつけ薬局の役割に加え、OTC（市販薬）の販売、健康食品のアドバイス、健康相談や受診勧奨等を行う健康サポート薬局もあります。

主に病院勤務で、特定の疾患の患者に対応する、専門資格を持つ専門薬剤師や認定薬剤師もいます。

例 がん 感染制御 精神科 妊婦・授乳婦 HIV感染症

他に、環境衛生等に係る仕事 新薬の開発 学校薬剤師 等に従事しています。  
現在、薬剤師免許を取得するには、6年間の薬学部の過程を卒業し、国家試験に合格することが必須です。

つづきは 医療班出前講座で！

## 《労働班です！》

「103万円の壁」という言葉を昨年からよく目に（耳に）します。時代や社会情勢に合わせて働き方も随分と変化してきました。正規職員、非常勤職員、パート、アルバイト・・・いろいろな分野で自分の希望する条件にあった働き方の選択肢も増えています。

### 情報を得て、理解・納得すること

言葉巧みに誘う「闇バイト」  
にも注意！！

今、仕事に関する情報はあふれています。  
知らないために損をしたり、トラブルになったり・・・ということもあります。  
情報を得にくい聞こえない人たちが働くときには、

**「きちんと情報を知り、理解し納得できる」環境が必要です**

そのためには・・・

ハローワークや設置通訳を介した相談など公的機関等の活用や、地域活動の中での情報提供が大事です。交流の中で、もっと気軽に「就労に関すること」を是非話題として取り上げてみてくださいね！

（労働班長 粉 純子）

## デフリンピックが11月に開催（その1）

11月15日から26日まで東京2025デフリンピックがいよいよ始まります。

デフリンピックとは、デフ+オリンピックのことです。デフ（Deaf）とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。デフリンピックは国際的な「聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピック」です。

国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）が主催し、4年毎に開催されるデフアスリートを対象とした国際スポーツ大会です。第1回は、1924年にフランスのパリで開催されました。従って、東京2025デフリンピックは、100周年の記念すべき大会になります。そして、日本では初めての開催となります。

この大会の成功に向けて、デフリンピック準備運営本部は、一般財団法人全日本ろうあ連盟、東京都と連携し、大会の準備及び運営を進めています。

気運醸成のためのデフスポーツ・サポーターに登録されている方もいるかと思えます。毎年1月からの更新となりますので、まだの方は、登録をしてください。

また、東京都が募集していたボランティアに応募された方もいるかと思えます。












ちば通研だよりに、これから偶数月にデフリンピックの情報を紹介していきます。できれば、このボランティアに抽選で採用された方の経験談を掲載していきたいと考えています。貴重な体験をすること間違いなしです。その情報を皆さんと一っしょに共有していきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

（広報部長 渡辺 正夫）

# 私のイチオシ …富里班…



富里班メンバー（総勢9名）による、題して「私の健康法」です！

<p><b>食べ順&amp;減量</b> (YK)</p>	<p>毎食、野菜から食べて血糖値の上昇を防いでいます。ダイエット（今年こそ！）も目標です。</p> 
<p><b>楽しく過ごす</b> (KK)</p> 	<p>毎日趣味のサークルに通い、友人達と楽しく過ごすことがなよりの健康法です。 小魚を毎日食べていますよ。</p> 
<p><b>ヨガ&amp;歩く</b> (WY)</p> 	<p>朝起きたらまずヨガ（10分以内）で身体を動かすことから。インドのヨガの曲を聴くとリラックスできますよ。 その他、気にかけているのは歩くこと。仕事中は、座りっぱなしにならないように電話の取次ぎで歩く、お手洗いは遠く離れた所まで早歩きで。1時間に1回は用事を作って歩くことを心がけています。</p>
<p><b>セルフネイル</b> (MH)</p> 	<p>メンタル健康法として、セルフネイルをやっています。どんな時でも手元は目に入るので、自分の好きな色、パキッと映える色、手が綺麗に見える色等々・・・。 仕事やプライベートで嫌なことがあっても、爪を見て「カワイイ！」とテンションを上げて、また前向きに頑張れるようにしています。</p>
<p><b>美味しいもの</b> (SO)</p>	<p>美味しいもの、好きなものを食べて、寝ることです。</p> 
<p><b>歩く！</b> (KK)</p> 	<p>近くのお使いは徒歩で！と決めています。 自宅からの片道距離 ベシアまで 0.7キロ ジョイフル本田まで 0.9キロ JA 富里2号店まで 1.8キロ</p> 
<p><b>グッスリ眠る</b> (KA)</p>	<p>布団に入ったら秒で眠り朝までグッスリ眠れます。それが健康に繋がっていると思います。</p> 
<p><b>適度な運動 規則正しい食事</b> (KS)</p>	<p>家事をしながら思いついたら“ながら運動”そして富里には美味しい野菜が豊富。旬の野菜をたくさん食べて、朝食には必ずヨーグルトをプラス。お陰で腸内環境は良好です。</p> 
<p><b>旬のもの</b> (YK)</p> 	<p>春は山菜、夏はキュウリ・トマト、秋はサツマイモ・キノコ、冬は白菜・カボチャなど。何でもある時代だからこそ“旬”を見つけて食べるのが楽しいです。</p>

## 地域班通信

印西班：12月の帰省時、久しぶりにANAを利用。離陸時の機内安全ビデオにポケモンキャラが次々と出てきて、画面右角に、ろう者・重田千輝さんが日本手話で翻訳。次の英語アナウンスでは、ろう者・川俣郁美さんが国際手話に。数年前ANAが全日ろう連に依頼したそう。デフリンピックに来る海外ろう者にも喜ばれそう！

船橋班：ある日の電車内で…。一人が白杖を手にした女性二人連れが乗車してきた。三人がけに座っていた青年が二人に気付き席を譲った。次の駅で端の席が空くと、真ん中に座ってスマホを見ていた人の肩に触れ「こちらの席へ…」という仕草を。二人連れの女性は会釈し並んで座った。声かけするのも臆しがちな昨今、この青年の行動に感服！  
(M)

白井班：冬は星が気になります。わかりやすい星座が昇ってくると「あ！」と嬉しくなっていました。何十年も。それがあの日突然、あのすごく光る星はなんだろうと気になり天体図を見るようになりました。スマホがあればいつでもどこにしようと星の名前を教えてください。星の名前や星座がわかるとギリシャ神話にも興味が湧き、ますます夜空を見上げるのが楽しくなっています。

わかしお班：デフリンピック開催をキッカケに国際手話に触れてみようと思い、「国際手話」の本を購入して「国際手話オンライン講座入門」に参加しました。「おはよう」「こんにちは」の挨拶や会話文を初めて体験しました。これを機会にちょっとでも会話が出来て通じたら嬉しいな。(KK)

富里班：我が家では、お正月に年男、年女が4人揃いました。そこで巳年に因んだ知る人ぞ知るローカルプチ情報。白子町に白亀と白蛇を祀った白子神社があるそうです。その神社の宮司さんは元NHKアナウンサーで富里市出身とのこと。これも何かの縁？ドライブがてらお参りに行ってみようかな。

市原班：新しい年になり、手帳を新調。スマホも便利だが紙の手帳も好きだ。去年の手帳に書き込まれたメモを見返してみる。読みたい本、観たい映画等々・・・リストは増えるばかりでほとんど消化されることなく次の手帳に持ち越し。今年はもっと計画的に過ごし、少しでもリストに「済」のチェックを書き込めるようにしたい。

八千代班：市の手話言語等条例施行から5年経過。この間手話表現動画の放映、オリジナルコミュニケーションボードの作成等、手話言語への理解を広める活動があった。1月25日には「5周年記念イベント」を開催する。川根紀夫氏による「条例制定後の啓発」に関する講演。手話教室・手話クイズなどお楽しみ企画もある。ステップアップのきっかけになると思う。

海匠地域班：保護猫活動をしている方から、子猫5匹と母猫を保護したと連絡がありました。結果、子猫4匹、引き取ることにしました。1匹は、さび柄の猫で、前から飼って見たかったので楽しみです。先住猫が6匹、併せて10匹。健康で最後までお世話が続けていきたい。2025年新年の抱負です。

鎌ヶ谷班：今春から、英語で東京都観光ボランティアをやることになりました。昨秋、ろう者の友達と皇居東御苑に行った時、いろいろな国の人と話す機会があり、応募しようと思いました。彼女には、いつもパワーとやる気をもらっています。11月には東京デフリンピックもあるので、国際手話も交えて交流できたら嬉しいです。(Makki)

千葉市：インフルエンザが流行中、何故か胃腸炎になりました。体調が優れないと気分も落ち込みますね。丁度、全国高校サッカー選手権が放送されていて、夢を持ち闘志を燃やした選手、競技場埋め尽くす応援団のパワーに元気を貰いました。2025東京デフリンピック、みんなでもっと熱く盛り上げていきたいですねー！

六つ星班：十数年振りに拝めた初日の出、旦那様と息子様は人生初の初日の出。素敵な年明けスタートだったが、二日後の夜中に父が倒れ救急搬送との連絡が来た。病院に駆け付けると予断ができない状況で顔を見れたのは、約5時間後のICU内にて管だらけの姿だった。診断名は『敗血症』ドラマでしか聞かなかった病名のため、ネットで調べてみた。持病があったり高齢者は回復後の予後不良との事。いつか来る順番を身近に感じざるを得なかった。

習志野班：今年は大雪のニュースで始まりましたね。私は北国出身なので、千葉で雪を見るときとても嬉しくなりますが、青森で雪が一晩であんなに降るなんて驚きました。今年もデフリンピックも開催されますが、穏やかな年でありますように！

市川班：郵便局の一角に一面の桜色？桃色？の華やかなカードのコーナーが。何かと思い立ち寄ってみると“桜咲く”受験の合格祈願のようです。受験生は人生の山場を迎えるのに、日本海側は大雪で大変ですね。“冬来たりなば春遠からじ”受験生も日本海側の方々も、そして私たちにも早く春が訪れるといいですね。(そうそう真間川の桜も蕾が膨らみ始めたみたいですよ)

かずさ班：今年のスタートは、1月14日君津市生涯学習センターで、デフリンピックで外国の人と交流するために国際手話を覚えるぞ！、スローライフでいきます！、手話通訳頑張る、かずさ班がんばるなど一人一人の決意表明から始まりました。続く通信員では、何人かの立候補があり明るい幕開けになりました。(巳年)

八街班：何か熱中するものがあるのは素敵だな、と思います。小2の息子は今、剣道に打ち込んでいますが、週に多い時で4日稽古です。付き添いの母はヘロヘロです。でも、息子の「今日も楽しかった！」の一言に救われます。一生懸命な彼の姿から自分も学ぶことが多いです。

役員短報
------

日時：1月4日（土）9:30-12:00

会場：オンライン

参加者：14人

<主な議題>

○三役

- ・1月25日デフリンピック新春イベント 役割分担決め。
- ・2025年度代議員会議案書の意見集約 次回役員会で確認し本部へ提出する。
- ・2025年2026年度役員体制について 地域班からの役員は2月26日に選出。若い人たちにつなげたい。

○2024年総会議案書について

- ・3月23日に最終確認。(3月28日印刷)
- ・ハイブリット形式で開催（詳細は改めてお知らせします）
- ・デフリンピック応援のため2025年度の事業を縮小。ちば通研講座は1回のみ開催。ちば通研集会は中止。

○広報部

- ・2月号掲載記事の確認

○組織部

- ・会員拡大327人(330人までもう少し)
- ・安否確認訓練の実施予定
- ・今後の地区講座の予定2か所

<部・班の報告>

○組織部

- ・オンライン会議等の問題点について

○医療班

- ・3月の学習会は3月23日に変更。

○TMG

- ・3月23日の学習会は変更予定。

○労働班

- ・3月12日に学習会予定。

○後援会

- ・定期総会及新芽まつり 5月18日

○関東手話通訳問題研究会

- ・1月26日 代表者会議+機関紙担当

日時：1月26日（日）9:30-12:30

会場：オンライン

参加者：10人

<主な議題>

○三役

- ・全通研2025年度代議員会議案書(素案)の意見集約について、各役員提出の意見について議論した。
- ・ちば通研2025年度定期総会議案書について各部・班の提案内容を確認した。
- ・関東通研討論集会報告書の扱いについて、情報保障と情報提供の観点から議論した。

○広報部

- ・2月号に北総・東総地区講座を掲載

○組織部

- ・1月の安否確認訓練の結果を確認し、今後の災害対策について議論した。
- ・会員328人(目標330人まであと2人)

<部・班の報告>

○三役

- ・らいおんカレンダーの販売協力

○後援会

- ・デフリンピック新春イベント(1月25日)の報告

○組織部

- ・北総地区講座・東総地区講座終了

○事務局

- ・中間監査を2月1日に実施する。

○労働班

- ・1月19日に学習会を実施した。

今後の予定
-------

○2月8日（土） ろう教育班学習会

○2月9日（日） 健康対策班学習会

○2月23日（日） 地域班会議

役員会

医療班学習会

○2月25日（火） 広報部会議

○2月28日（金） サポーターズ印刷日

## お知らせ

○ちば通研ホームページにアクセス  
アドレスは以下のとおりです。

<http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

QRコードでホームページに  
アクセスできます。

会員専用ページは  
パスワードが必要です。



○ちば通研へのお問い合わせ

ちば通研への連絡は下記のアドレスへ。

E-Mail: [syuwa@nifty.com](mailto:syuwa@nifty.com)

○原稿募集

原稿掲載にあたり、150字程度でお名前は本名  
もしくはニックネームを明記。

次号の原稿締切は2月15日(土)です。

E-Mail: [c-koho@c2ken.sakura.ne.jp](mailto:c-koho@c2ken.sakura.ne.jp)

FAX: 043-247-1201(早朝・深夜は不可)

## 会費の納入のお願い

2024年度の会費納入をお願いしています。

会費は振込にてお願いいたします。振込先は以下の  
とおりです。なお、申し訳ありませんが振込手数料は  
ご負担ください。複数人まとめての納入は、全員の名  
前をご記入ください。

○年会費

会費 10,000円

読者会員 6,500円(聴覚障害者のみ)

○郵便振込先

口座番号: 00120-4-708239

加入者名: 千葉県手話通訳問題研究会

※ゆうちょダイレクトで振込の場合は、月5回まで  
無料です。

## けいわん 110 番

＜医療的な相談窓口＞

滋賀医科大学社会医学講座(衛生学)

TEL: 077-548-2187

FAX: 077-548-2189

＜仲間を守る取組みに関する相談窓口＞

FAX: 057-451-3281

\*何かありましたら、いつでも、ちば通研健  
康対策班に、ご相談ください。

FAX: 043-247-1201

○安否確認の報告はこちらへ

ちば通研では、2014年度から安否確認訓練  
をしています。最近、災害はいつ起きてもお  
かしくない状況です。そのため、会員の安否確  
認をよりスムーズにするため、専用のフォーム  
を開設しました。

災害の時は、自分から

アクセスして状況を

ちば通研に報告してください。

<https://forms.office.com/r/5bav1TCt53>



## あ と が き

印西班牙さんからの地域班通信を拝見し  
て、機内安全ビデオを見たい! と思った  
けれども飛行機に乗る機会なんてない  
し・・・と諦めていたら、印西班牙さんから  
追加の情報をいただきました。なんと  
ANA 機内安全ビデオ「ポケモン特別版」で  
検索すればYou Tubeでそのビデオを見る  
ことができるとのこと。皆さんも是非ご  
覧になってください。(K)

「レ・ミゼラブル」観に行きました。大、  
大、大、好きで毎回感動し涙しています。  
話や歌はもちろんオーケストラも最高!  
特に「民衆の歌」は圧巻です。社会の過  
酷さと不平等が描かれ時代が変わっても  
共感でき考えさせられます。残念ですが  
帝国劇場が建て替えになり今期でここ  
での上演はラスト。生まれ変わった劇場で  
また再開することが楽しみです。(S)